

# 八幡平市教育委員会会議録

令和2年8月26日（水）

八幡平市教育委員会

## 令和2年8月八幡平市教育委員会定例会会議録

### 1. 開催日時

令和2年8月26日（水）午後2時58分から午後3時56分

### 2. 場所

八幡平市役所本庁舎3階 大会議室

### 3. 出席者

教 育 長	星	俊 也
委 員	羽 沢	憲 英
委 員	宮 野	朋 士
委 員	高 橋	優 子
委 員	伊 藤	政 行

### 4. 欠席者

なし

### 5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼学校給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	照 井 英 輝
教育総務課長補佐兼総務係長兼学校給食センター副所長	佐々木 由理香

### 6. 傍聴者

なし

### 7. 教育長あいさつ要旨

7月定例会後の主な行事等について報告

1) 7月29日（水）30日（木）教育研究所夏季研修講座

2) 7月31日（金）・イングリッシュ・キャンプ

・第10回市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

3) 8月3日（月）子どもリーダー研修会 情報メディアとの上手な付き合い方ということで話し合った。ゲーム、SNSのルール作りを学校ごとに行いそれを学校に持ち帰り、2学期に仲間たちに伝えて学校の取り組みに繋げていくという新しい試みを今年度している。各学校の取り組みが、来年1月にそれぞれ持ち寄って、どのような取り組みがなされたか報告をすることになっている。

- 4) 8月4日(火)・第1回八幡平市コミュニティ・スクール推進協議会  
今年度から、市内14校全てがコミュニティ・スクールに移行している。
  - ・大更駅前顔づくり施設ワークショップ市立図書館の移転を見込んで、どのような図書館であれば市民に愛され親しまれる図書館になるかということをもPTA、子育て世代、高校生など集り、それぞれ意見を自由に述べる、そういうワークショップが行われた。1つだけ紹介すると、平館高校の生徒が、図書館の中で紙芝居を小さな子に読んで聞かせる、そういう場所を設けてほしいという意見があった。そういう場所を通して、平館高校の生徒と小さな子が触れ合うこと、小さい子が将来平館高校に入りたいなどと思う気持ちまで繋げることができるのではないかという考えの意見があった。
- 5) 8月5日(水) 社会教育委員定例会議 社会教育施設、博物館、図書館、コミセン等々の施設利用状況、今年度の方針計画等が話し合われた。ご存知の通り、安比の漆塗りが日本遺産認定されたということで、二戸市と共同で遺産に認定されたわけだが、その状況についても報告された。
- 6) 8月7日(金) 八幡平市副校長会研修会教育長講話
- 7) 8月17日(月) 令和2年度 後期計画の策定に向けた地域検討会議(第4回) 市長等々と出席したが、後期計画の骨子がこれまでの各地区からの意見を受けて、高等学校1学級校、小規模であっても原則として学級規模を可能な限り維持していきたいという方針が出された。それから、大規模校も統合していくということで、これまで盛岡一極集中だったわけだが、盛岡南高校と不来方高校の統合案ということで出されている。こういった考え方について参加者からは、概ねその方向でいいのではないかという評価を受けている。
- 8) 8月21日(金)・八幡平市議会議員全員協議会
  - ・第5回小・中学校校長会議
- 9) 8月26日(水)・教育委員会8月定例会
  - ・市長と市PTA連絡協議会とのフリートーク

#### 9月の主な行事について報告

- 1) 8月28日(金) 防災教育重点部会
- 2) 8月29日(土) 寺田小学校運動会
- 3) 9月2日(水) 岩手地区中学校駅伝大会
- 4) 9月3日(木) 令和2年度「わたしの主張」北岩手大会
- 5) 9月4日(金)～25日(金) 市議会第3回定例会
- 6) 9月6日(日) 八幡平市防災訓練
- 7) 9月12日(土)・13日(日) 岩手地区中学校新人戦
- 8) 9月24日(木) 教育委員会9月定例会
- 9) 9月28日(月) 第23回少年少女の詩江間章子賞選考委員会

## 8. 報告事項の要旨

(教育総務課)

・大更顔づくりのワークショップが1回きりになってしまったが、8月4日に多目的ルームで行われ、司会進行を岩手大学客員教授小野寺教授にお願いをした。参加者は地元関係者ということで、大更商店街の未来を創る会から2人、商工会女性部の部長・副部長、小中学校関係者として大更小学校のPTA会長、西根中学校PTA会長、子育て団体の代表としてたからっこ広場の子育てアドバイザー、広場利用者、保護者会の副会長と合わせて3名、地元高校生として平館高校3年生の3名、盛岡に通学している生徒にも入ってほしかったが、今回は地元の高校生のみである。図書館関係者として図書館協議会から瀬川会長と附田先生、書店に勤務された方という有識者にも入っていただいた。

ワークショップでは、フロアごとの機能がありますので、建物全体に対するイメージ、1階はエントランス、観光案内所、ショップ、どういうものが望まれるのか。2階は子育て支援、屋根付き公園、3・4階の図書館ということでそれぞれのフロア、全体のイメージをみんなで語り合ったものである。図書館については、施設全体で図書に触れるものがあつたらいいなという声があつた。例えば、1階でカフェがあればカフェでも読めれば良いし、子育ての部分でも図書に触れる。3・4階という決まった所だけではなく、室内全体で図書に触れることができればいいなという話で、管理するにはかなり工夫が必要と思われる。それから、賑やかな所と静かな所は分けてもらいたい。プロジェクター等を常備して映像を映す場所がほしい。電子図書についての貸し出し。パソコンタブレットなど充電できるコンセント。集中できる空間、学習や調べ物をする空間は必要だと思われる。参考書や多言語の本など、学生は必要に思っているところもある。飲み物が持ち込める図書館という話もあるが、どこまでするのか区分が必要である。ロッカールーム、読み聞かせの話もありました。平館高校の家政科の検定項目に読み聞かせがあるようなので、実演練習のために読み聞かせができるコーナーは、ぜひ備えてほしいという話があつた。靴を脱いでくつろぎながら読めるスペース。中学生が、勉強したり聞いたり教えたりできるグループ学習室というものがほしいということ。話を伺っていると、だいたい整備基本方針で掲げているのと、同じような事を思っているというのがわかつた。全体の中では、エスカレーターなどが出たが、予算的、設備的に実現は難しいところはある。賑わいの起点になる施設になればいいと話を聞いていて思った。

・9月定例市議会が9月4日～25日まで開催されるが、決算議会となるので昨年の決算内容の審査がされ、いつもどおり一般質問の通告も9名の議員からあつた。1日3名ずつ3日間かけて、その後補正予算の審議という形で行う。決算特別委員会の冒頭で教育長から報告する、教育委員会施策結果報告については、本日付議する議案第1号にて内容は説明する。補正予算で今回提案するのは、小中学校の管理事業の修繕料不足分が大きいところで、学校再開に伴う感染症対策、学習保障にかかる支援事業というのを各小中学校にそれぞれ要求

してもらったのが補正予算として上程される。大更小学校は、人数が300人以上となるので上限150万円。あとの13校は、それぞれ100万円を上限として衛生対策用として消毒液、体温計、パーテーションや休校をよぎなくされた時の印刷機の紙や消耗品等。備品購入としては学習の保障ということで、大型のディスプレイをこの機会に購入しようと要求されている学校も多くある。それぞれ学校の養教さん、教務主任さんが創意工夫して要求されているので、これでもって円滑な学校運営ができるのかなと期待しているところである。

・教育委員の宮野委員さんが、11月14日で3期目の任期が満了されるので、再任の人権案件について上程されるものである。

#### (教育指導課)

・各小中学校において、夏季休業中に事故や大きなケガ等もなく、8月17日から19日の間にそれぞれ始業式を行い、2学期がスタートしている。2学期は、コロナウイルス感染症の影響で延期されていた、運動会や修学旅行等の実施もあり大変忙しい学期になる。スポーツや文化的な行事、あるいは学校公開等があることから、児童生徒が存分に活躍することを期待し、各学校の教育活動が充実するように、教育委員会としてバックアップしていきたいと考えている。夏季休業中の事業では、7月29日30日の2日間、市内小中学校の先生方を対象に、教育研究所公開講座を実施した。夏季休業中にも関わらず防災教育、学校保健、算数数学、国語、学校経営、特別支援教育、ICT活用プログラミング、故郷理解の8つの講座に143名の先生方が参加し熱心に研修していただいた。アンケートの評価では5段階評価で4.86という高い評価をいただき、満足度の高い研修となった。

7月31日には市役所において、八幡平市イングリッシュ・キャンプを実施し、4人のALTの先生方が企画運営をした。今年度は平笠小学校、寄木小学校、柏台小学校、安代小学校、田山小学校の5校から11名の児童が参加し、西根中学校、安代中学校から10名が参加しました。英語で八幡平市のCMビデオを作ろうという課題の元、各グループに分かれて熱心に活動し、八幡平市の良さをアピールする映像を作り上げる事ができた。小学生も中学生もたっぴりと英語にひたっており、アンケートを読むとどの子も満足し、また参加したいという感想が多くあった。

8月4日第1回八幡平市コミュニティ・スクール推進協議会を実施した。宮野教育委員さんにも、教育振興運動推進協議会長の立場で参加いただいた。内容は事務局から今年度の計画等を説明し、コミュニティ・スクールとして1年間取り組んだ寺田小学校、西根中学校が昨年度の取り組みを報告した。また、今年度から学校運営協議会を開始した8校が4月からの取り組みについて報告をした。岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課の片方主任指導主事にも参加いただき、各学校の取り組みについて指導・助言をいただいた。今後、秋に研修会、年度末に協議会を実施し、取り組みをさらに充実させていきたいと考えている。

## 9. 報告事項についての質疑

○宮野委員

GIGA スクール構想について、新聞等でも物の調達ができないのではと載っていましたが、考え方とすれば揃ったときに一括ですか。

○工藤教育総務課課長

段階的に入れます。

○宮野委員

学校ごとにバラバラに入ることもありますか。

○工藤教育総務課課長

可能性はあります。いきなり 1,500 は一気に入らないと思います。例えば 300、400 とかそういう形にならざるを得ないと思っています。

○宮野委員

市内は、例えば NEC なら NEC とか同じメーカーですか。

○工藤教育総務課課長

同じ機種です。

○宮野委員

それに関連して、教育研修所の ICT 活用プログラミング研修に参加された先生方の参加率はどうだったのでしょうか。

○照井指導課長

今回は 20 名程度の参加と捉えておりました。来年度の研究所の事業も含めてタブレットを使った授業のありかたというのは、これからも進めていかなければならないと考えておりました。

○宮野委員

遅れるのは確実だと思うのですが、入ってきてから「さあ何やりましょうか」ではなくて、入ってきたらすぐにスタートできる体制を、ぜひとも考えていただいて遅れないようにしていただきたいと思います。

## 10. 議事

報告第 1 号 「八幡平市奨学金貸付基金条例施行規則の一部を改正することについて」

議案第 1 号 「令和元年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果に関し議決を求めることについて」

## 11. 議事の概要

### ○星教育長

報告第1号「八幡平市奨学金貸付基金条例施行規則の一部を改正することについて」を事務局から説明お願いいたします。

### ○工藤教育総務課課長

(資料に基づき説明)

### ○星教育長

はい、ありがとうございました。

報告第1号について説明がありました。ただいまの説明に関しまして、質問等ありましたらご発言お願いいたします。

(委員から「なし」の声あり)

それでは質疑を終結いたします。お諮りいたします。報告第1号「八幡平市奨学金貸付基金条例施行規則の一部を改正することについて」原案の通り承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

### ○星教育長

異議なしと認め、報告第1号は原案の通り承認されました。

次に議案第1号「令和元年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果に関し議決を求めることについて」説明をお願いします。

### ○工藤教育総務課課長

(資料に基づき説明)

### ○星教育長

はい、ありがとうございました。

議案第1号について説明がありました。ただいまの説明に関しまして、質問等がありましたらご発言をお願いします。

### ○宮野委員

重点演述もそうですし、報告書もそうなのですが、この複数ページに渡る資料は、事前配布をして目を通したうえで、会議に臨めるような準備をしていただかないと議題として話し合う意味がない。中身を見ないでオーケーですとはとても言えないです。

○星教育長

そのとおりであります。今、工藤課長から申し上げたとおり、提案とその実施ということで、すでに説明している中身ということもあって、今回はこのような取扱いになりましたが、次回からは宮野委員の意見をいかして事前配布をして、目を通していただくということにしたいと思っておりますのでご理解いただければと思います。

○工藤教育総務課課長

当初予算で掲げた基本方針と見比べできるように、みなさんには事前配布したいと思っております。

○星教育長

今お配りしてのご意見をという大変失礼な申し出ですが、何かありましたらお願いします。

(委員から「なし」の声あり)

それでは質疑を終結いたします。お諮りいたします。議案第1号「令和元年度八幡平市教育委員会の主要な施策への取組結果に関し議決を求めることについて」原案の通り決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○星教育長

異議なしと認め、議案第1号は原案の通り可決されました。

12. その他

○星教育長

それでは5その他に入ります。事務局から何かありますか。

○工藤教育総務課課長

ありません。

○星教育長

はい、委員の皆さん方から何かありましたらお願いします。

○宮野委員

先ほどの図書館の話なのか、施設の話なのか本来分けて話し合いをしないといけないことだと思うのですが、図書館について私の考えを申しますと、よその図

書館を見ても、これほど駅に近い所に立地するわけなのですから、市内の子供たちが親の手を煩わせないで、図書館に行くべく行けるような方法がないかと考えました。大更の顔づくりなのか、本来は八幡平市の顔づくりなのでしょうけど、兄畑であろうが、田山であろうが、安代であろうが、赤坂田であろうが、その子供たちが駅に行けば、花輪線に乗って大更で降りれば図書館に行けるといふ、それを平等に子供たちが享受できるような方策を考えていただきたい。それほど難しいことではないと思います。朝、花輪線に乗って大更駅で降りて図書館に行って十分に本を読んで暗くなる前の花輪線に乗って家路に着くと。それを個々の負担なしに出来るようにするのが、本来の市民が交流できる図書館でもあるし、子供の成長を支える図書館であるし、学びの拠点となる図書館だと思います。設備投資を考えれば、JRに払う運賃というのはなんでもないはずなので、是非とも週末だけでもいいですから、それを子供たちに負担させないで、どんどん図書館に行けるような状況になるように考えてほしい。

○星教育長

貴重なご意見だと思います。これからいろいろな使い方も含めて、協議が進められますので、いただいたご意見を教育委員会の教育委員さんからのご意見ということで、提案させていただきたいと思います。

○宮野委員

よろしくお願いします。

○工藤教育総務課長

公共交通網の見直し、スクールバスも含めてダイナミックにそういう想定に入りつつあるところです。顔づくり施設もその1つのターゲットとして、ここを起点とした交通網のネットワークを再整備しなければならないのかなど。バイパス活用というのも含めて、JRとのリンクはうまく考えなければなりませんし、それぞれの分野にまたがりながら、個別で送迎というのは難しいところもあると思いますので、公共交通網の機能を使って。ワークショップでも、500円持ってくれば1日過ごせることができる施設になればいいというお母さん方からの声がありました。まさに朝9時とかに来て、夕方まで1コインで過ごせる施設にしたいという声もありましたので、交通手段でフォローできるような体制にしていきたいと思っています。

○宮野委員

小学校から中学校にかけて通っているうちに、平館高校もいいなと思ってもらえればありがたいですね。

○星教育長

JRだけではなくて、コミュニティバスなんかも同じような割引ができればい

いですよね。

○工藤教育総務課長

県北バスが起点となって機関交通を作って、そこにコミュニティバスがリンクした形の放射線状の交通網を作らないと。いかに赤字補てんをするか、間違いなく黒は難しいでしょうから、赤字補てん路線数と本数を増やせば、それだけ赤が累積するでしょうから、その折り合いをどうつけるかが、まさに公共交通計画になると思います。

○星教育長

大更小学校は近いので、下校時に寄って借りたり、過ごしたりできるのかなと思います。今の図書館だと、どうしても距離があり歩いてはいけないので、駅前にできればそれが可能になります。それから、図書館協議会の中でも話をしたのですが、八幡平市民の図書館の会員になっている率というのは、市民全体で18%くらいしかないそうです。これは、他市町村に比べても低いです。どこにその理由があるのか、いろいろ検討しなければならないのですが、便の良い所に行きますので、宮野委員さんが言ったように、いろんな人が自由に使っていけるような市民に開かれた愛される施設になって、大勢の人が利用するようになっていければいいなと思います。

○工藤教育総務課長

ほとんど同じ人しか使ってないです。関与していない人が7割以上。使っている人は2割いないので、目標として5割くらいまで引き伸ばせればと考えております。ある議員さんの質問にもあったのですが、病院が近くにあるということで、予防医学的なトピックなど、市民が課題解決に役立つような医療福祉的な分野もあって連携発揮できればいいなと思います。

○星教育長 1 ほかの委員さん方からも、こんな図書館がいいというのを一言でもいただければと思います。伊藤委員さんいかがですか。

○伊藤委員

市立病院が近い場所にあるため、図書館にもいろいろな病気についての参考書や冊子があれば、病気に関しての知識や予防にもつながるのではないのでしょうか。

○工藤教育総務課長

病院には図書室はなく、入院している人が読むコミック類くらいしか置いてないので、図書館でそういう部分をフォローできればという思いも確かにあります。

○星教育長

羽沢委員さん何かご意見があれば

○羽沢委員

宮野委員さんが言ったように、子供たちだけでなく親もそうですが、安代の方は行きづらいと思いますので、これを機会に図書館新しくなったから行ってみよう、行ってみたら本がたくさんあっておもしろそうだと、一番最初に興味を引くような形で、自由に市民の方利用できるよと、必ず何か借りなければいけないのではなく、軽い気持ちでちょっと寄ってみようかと思える、取り組みがあれば利用者も増えるだろうし。現実今安代からすると、図書館行ってみようかというのはなかなかないですね。そっちまで行くのかという感覚なのですが、盛岡に買い物行ったついでに寄ってみようかと、大更顔づくりと名前にもありますが、八幡平市の顔ということで気軽に寄れて、図書館で楽しいね、いろいろなことが学べるねという形を植え付けるような運動をしていかなければならない。いっぱい本を揃えたからどうぞではなくて、せっかく作るのですからいろいろな形で、私たちも図書館の人たちも知恵を絞ってやっていると、もっと利用率が上がって登録者数も増やして、そのために造る図書館だと思っていますので。図書館だけでなく子育ての部分でも、あそこに行くと子育ての相談をしたり、いろいろなことができるということも充実させると、それにプラスアルファじゃあ図書館も使おうかと。切り離さないで1つの建物の中で、そういう考えを持っていると楽しいものができるのではないかと思います。

○星教育長

ぜひ、そうありたいと思います。

○伊藤委員

県立図書館のような雰囲気だといいですね。誰でも気軽に入れるような。

○羽沢委員

構えなくてもいい雰囲気づくりというのも大切です。

○星教育長

高橋委員さんのご意見ありますか。

○高橋委員

長男が医療系の専門学校に通っているのですが、ちょっとした本を買っても3千、5千円と高く、ここから岩女に行っている子も多いので、中高生が将来職業を選ぶ時に、参考になりそうな理容師だったり保育士だったり、いろいろな職種を少しずつ置いてくだされば、市に本屋さんがないので、そのとっかかりとして将来の職業につながるような部分を、充実させていただきたいなと思います。

○星教育長

大事ですね。貴重なご意見をいただきました。その他ありましたらお願いします。

(委員から「なし」の声あり)

はい特にないようですので、これを持ちまし八幡平市教育委員会定例会は閉じさせていただきます。ありがとうございました。